

令和6年度北栄町介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定委員会

日 時 令和7年3月7日（金）

午後1時30分～3時

場 所 北栄町役場大栄庁舎

3階 第1委員会室

日 程

1 開 会

2 あいさつ

3 会長、副会長の選出について

4 議 事

（1）介護保険事業等の実施状況について〔別紙資料〕

（2）その他

5 閉 会

北栄町介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定委員名簿

所 属	役 職	氏 名	備 考
北栄町民生児童委員協議会	福祉部	西村 文伸	団体
北栄町社会福祉協議会	会長	大西 孝弘	団体
北栄町老人クラブ連合会	副会長	田村 禎之	団体
北栄町女性団体連絡協議会	会長	磯江 華葉	団体
介護者代表		岩垣 裕子	個人
医療法人誠医会 宮川医院	院長	宮川 秀人	団体
居宅介護支援センター ル・サンテリオン北条	管理者	岩床 淳弘	団体
北栄町社会福祉協議会	事務局長兼 介護支援課長	金山 英文	団体
医療法人誠医会 老人保健施設セラトピア	事務次長	中村 康博	団体
鳥取県中部総合事務所 県民福祉局共生社会推進課	係長	野間 禎治	団体
一般公募者		平林 美里	個人
一般公募者		桑田 紀代	個人
一般公募者		立石 初子	個人

委員任期

自：令和7年2月14日

至：令和10年2月13日

＝ 介護保険事業の実施状況 ＝

1 介護給付費の推移

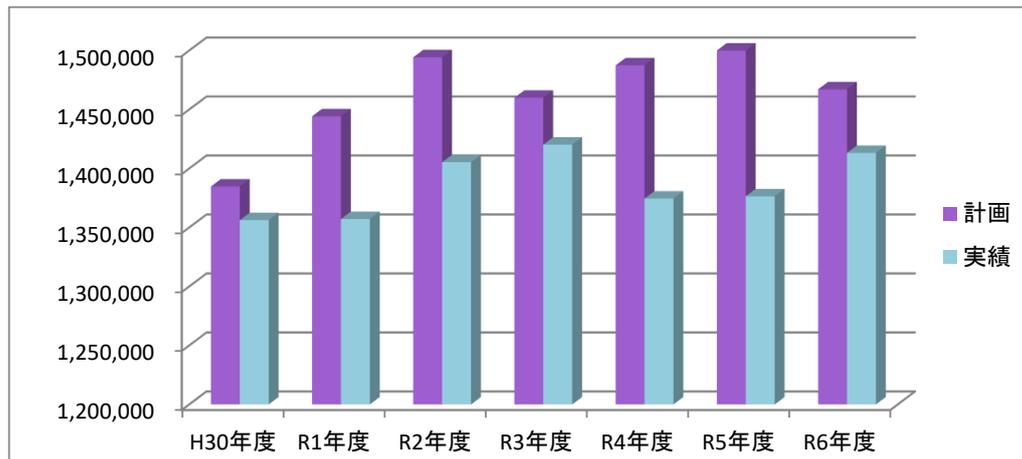
(1) 要介護、要支援別

①介護給付費（要介護1～5）

(単位：千円)

	第7期			第8期			第9期
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	1,384,720	1,444,252	1,494,273	1,459,979	1,487,436	1,512,907	1,467,082
実績	1,356,208	1,357,180	1,405,314	1,420,224	1,374,505	1,376,436	1,413,210
差引	28,512	87,072	88,959	39,755	112,931	136,471	53,872

※令和6年度実績は見込み値

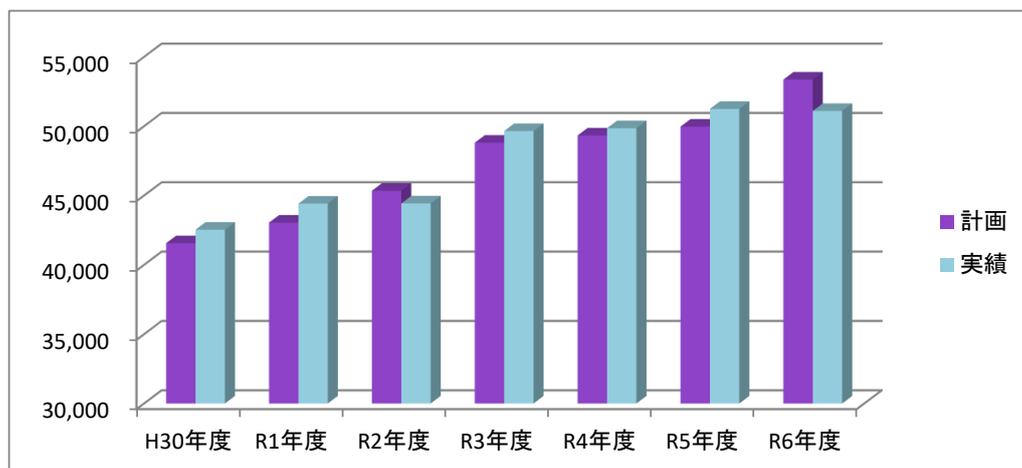


②介護予防給付費（要支援1，2）

(単位：千円)

	第7期			第8期			第9期
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	41,560	43,044	45,341	48,809	49,331	49,968	53,361
実績	42,530	44,412	44,427	49,647	49,854	51,245	51,093
差引	△ 970	△ 1,368	914	△ 838	△ 523	△ 1,277	2,268

※令和6年度実績は見込み値



平成28年度より介護予防・日常生活支援総合事業に移行したため、介護予防通所介護、介護予防訪問介護が段階的に移行。

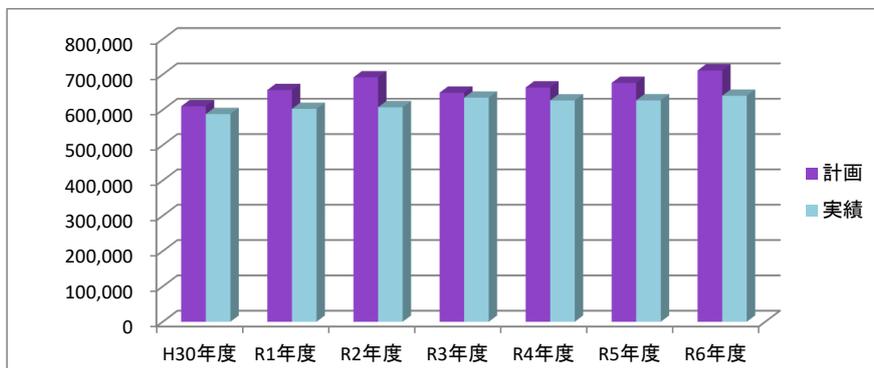
(2) 各サービス別

①居宅サービス(介護給付・介護予防給付)

(単位：千円)

	第7期			第8期			第9期
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	610,033	655,922	691,869	648,223	663,109	676,061	711,249
実績	587,796	602,513	607,061	634,329	626,432	626,570	639,596
差引	22,237	53,409	84,808	13,894	36,677	49,491	71,653

※令和6年度実績は見込み値

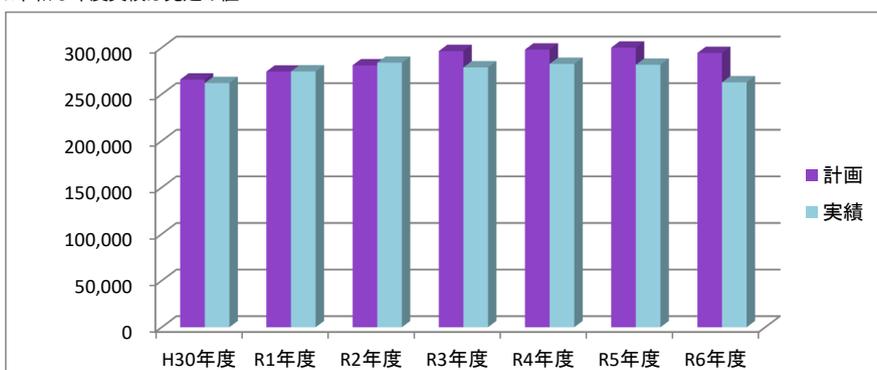


②地域密着型サービス(介護給付費・介護予防給付)

(単位：千円)

	第7期			第8期			第9期
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	265,775	274,307	281,036	296,324	297,895	300,726	294,289
実績	261,988	274,453	283,805	278,817	282,560	281,612	262,767
差引	3,787	△ 146	△ 2,769	17,507	15,335	19,114	31,522

※令和6年度実績は見込み値

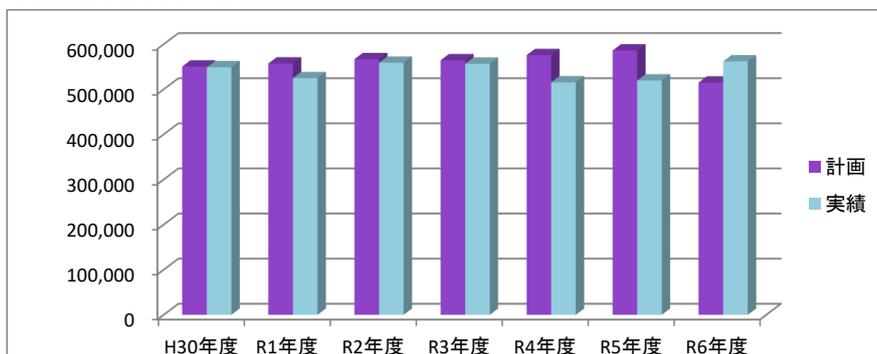


③施設サービス(介護給付費)

(単位：千円)

	第7期			第8期			第9期
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	550,472	557,067	566,709	564,241	575,763	586,088	514,905
実績	548,954	524,626	558,875	556,725	515,368	519,500	561,941
差引	1,518	32,441	7,834	7,516	60,395	66,588	△ 47,036

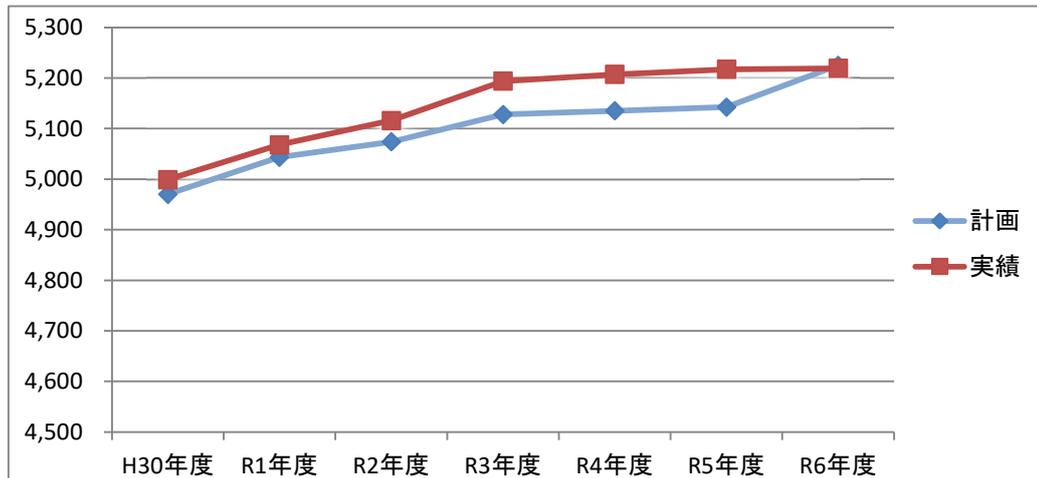
※令和6年度実績は見込み値



2 高齢者（65歳以上人口）の推移（各年度9月末現在）

（単位：人）

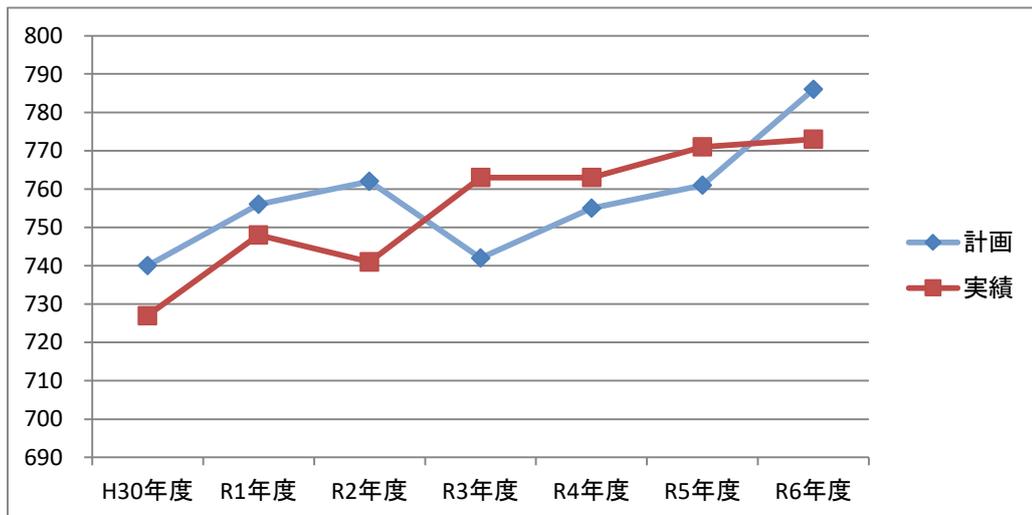
	第7期			第8期			第9期
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	4,970	5,043	5,074	5,128	5,135	5,142	5,225
実績	4,999	5,068	5,116	5,194	5,207	5,217	5,219
比較	29	25	42	66	72	75	△ 6



3 要支援・要介護認定者の推移（各年度9月末現在）

（単位：人）

	第7期			第8期			第9期
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	740	756	762	742	755	761	786
実績	727	748	741	763	763	771	773
比較	△ 13	△ 8	△ 21	21	8	10	△ 13



4 介護給付費準備基金積立金の推移

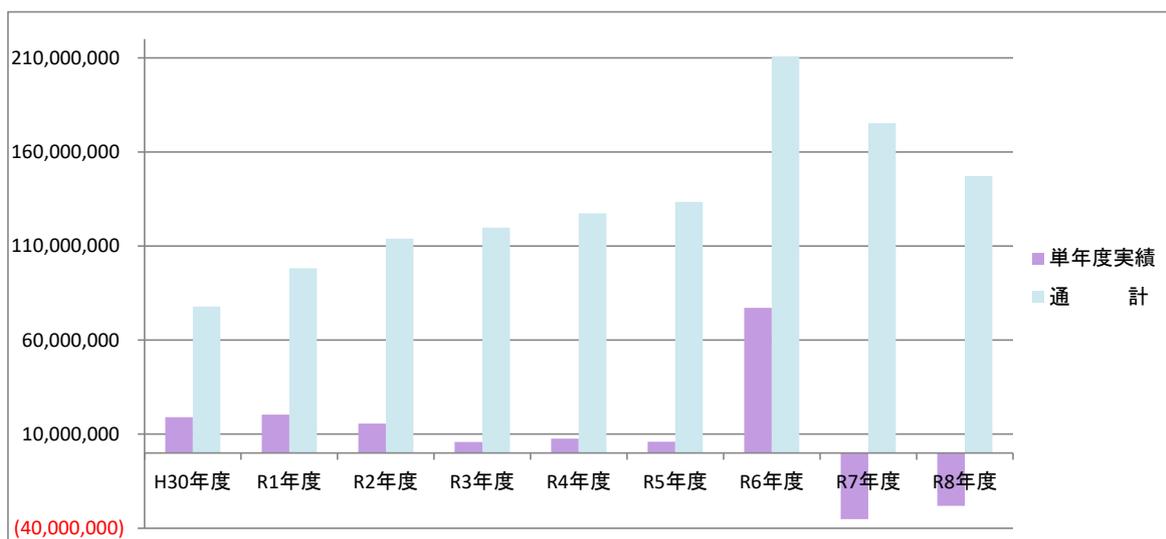
介護給付費準備基金は、介護保険事業特別会計において発生した余剰金を積み立て、財源不足時に取り崩して充当するために設置される基金です。事業運営期間の最終年度において残高がある場合には、次期保険料を見込むにあたり、最低必要と認められる額を除き取り崩すことが基本的な考えであるとされています。

第9期介護保険料額設定については、保険給付費の増加が見込まれたものの、支払に不足額が生じた場合には、第8期末までの基金積立金を活用することとし第8期保険料と同額に据え置きました。

(単位：円)

	第7期			第8期			第9期		
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
単年度実績	19,018,000	20,419,000	15,675,000	5,875,277	7,665,408	6,040,555	77,105,000	△ 35,217,000	△ 28,118,000
通 計	77,799,663	98,218,663	113,893,663	119,768,940	127,434,348	133,474,903	210,579,903	175,362,903	147,244,903

※令和6年度～令和8年度実績は見込み値



〔説明〕

基金運用の実績（見込み）としては、第9期計画策定当初は、計画期間中（R6～R8）に88,700千円の基金取り崩しを見込んでいました。令和6年度当初予算では、25,365千円の取り崩しが必要となる予算編成をしていましたが、決算では、介護給付費の伸びが計画値を下回る見込みであることから、77,105千円の積み立てが可能な見込みとなりました。なお、令和7年度予算では、35,217千円の取り崩しが必要となる予算編成となっています。

5 地域支援事業の取組実績と見込み

(単位：人、回)

区分	単位	第8期				第9期				
		令和3年度 (実績)	令和4年度 (実績)	令和5年度 (計画値見込)	令和5年度 (実績)	令和6年度 (計画値見込)	令和6年度 (実績見込)	令和7年度 (計画値見込)	令和8年度 (計画値見込)	
介護予防・生活支援サービス事業	介護予防訪問介護相当サービス	延人数	221	269	220	278	270	322	280	280
	介護予防通所介護相当サービス	延人数	877	845	840	851	870	806	880	880
	筋力アップ教室北条 ※ (通所型サービスA)	回数	48	48	48	48	48	48	48	48
		延人数	479	324	520	299	400	331	410	410
	筋力アップ教室大栄 ※ (通所型サービスA)	回数	/	48	/	48	48	48	48	48
		延人数	/	381	/	431	400	277	410	410
	リフレッシュ教室 ※ (通所型サービスA)	回数	48	48	48	47	48	48	48	48
		延人数	262	242	340	374	380	375	390	390
	はつらつ！お達者教室 ※ (通所型サービスA)	回数	48	48	48	48	48	48	48	48
		延人数	476	389	440	385	380	373	390	390
	食べて！うたって！笑わー 会！(通所型サービスA)	回数	47	48	48	47	48	48	48	48
		延人数	355	278	350	181	300	302	310	310
	パワーリハビリ教室 ※ (通所型サービスA) (R4.11月～R6.3月まで休止)	回数	48	29	48	/	48	48	48	48
		延人数	314	209	420	/	250	236	260	260
	認知症サポーター養成講座	回数	4	9	10	6	6	10	6	6
		延人数	227	609	250	215	250	261	250	250
	介護予防運動サポーター養成 講座	回数	1	1	2	1	1	1	1	1
		延人数	14	14	30	24	20	20	20	20
	お口の機能向上事業	回数	3	3	3	3	/	/	/	/
		延人数	41	29	45	57	/	/	/	/
リハビリテーション専門職派 遣事業	回数(個別)	15	22	20	13	12	15	12	12	
	回数(集いの場)	/	/	/	26	23	31	23	23	
	延人数(集いの場)	/	/	/	309	280	382	280	280	
シニアフィット教室 ※ (運動器機能向上教室)	回数	46	48	48	48	48	48	48	48	
	延人数	227	202	410	318	300	277	310	310	
転倒予防教室 ※ (運動器機能向上教室)	回数	24	24	24	24	24	24	24	24	
	延人数	404	243	440	206	270	400	280	280	
生きがいデイサービス (閉じこもり予防教室)	回数	103	103	104	103	104	100	104	104	
	延人数	962	923	900	838	910	778	910	910	
脳活クラブ ※ (認知症予防教室)	回数	48	48	48	47	48	48	48	48	
	延人数	376	344	500	243	330	363	340	340	
こけないからだ講座	地区数	1	0	1	0	1	4	1	1	
高齢者サークル活動支援事業	サークル数	26	26	24	25	27	27	28	29	
	回数	1,173	1,364	/	1,477	1,498	1,670	1,546	1,594	
	延人数	7,456	9,286	/	10,447	10,440	12,086	10,680	10,920	
包括的支援事業	地域ネットワーク会議	回数	3	10	24	6	5	6	5	5
		延人数	103	386	96	237	200	240	200	200
任意事業	地域ケア会議	回数	16	16	24	20	22	20	23	23
		延人数	50	36	96	56	66	53	69	69
任意事業	在宅介護者慰労事業	回数	2	2	2	2	2	2	2	2
		延人数	30	40	50	29	40	30	40	40
	家族介護用品支給事業	延人数	18	11	19	9	12	6	14	16
		回数	9	12	12	12	12	12	12	12
成年後見制度利用支援事業	認知症の人と家族のつどい	延人数	20	47	24	51	60	60	60	60
		件数	0	2	2	2	2	2	2	2

※回数、人数は、集合開催と個別モニタリング開催の合計

6『地域包括ケアシステム推進のための重点取組事項』（介護保険事業計画 P36～）に対する令和6年度取組状況について

① 介護予防施策の充実・推進（計画 P36（関連 P5））

項目	主な内容
① 健康づくりから介護予防までの一体的な取組の推進	<p>集いの場に保健師・リハビリテーション専門職等の医療専門職が訪問し、地域の課題に沿った指導を行う。</p> <p>対象者に合った介護予防支援ができるよう、町内にある様々な集いの場との情報共有を図る。</p> <p>こけないからだ講座を開催し、介護予防の普及を行う。また、継続実施団体に対し保健師・リハビリテーション専門職等の医療専門職が訪問し、活動の活性化を図る。</p>
② 効果的な介護予防・重度化防止の推進	<p>コロナ禍を経て心配される地域の社会的フレイルに対して、リハビリテーション専門職派遣事業を活用し、専門職と連携しながら、地域全体に目を向けたポピュレーションアプローチ（※8）を行い、集いの場の活性化を図る。</p> <p>リハビリテーション専門職等が地域と関わることで、地域で介護予防を行う人材を育成し、住民が主体的に介護予防の取組を行えるよう支援する。</p> <p>オーラルフレイルについて、サロンや教室等で、予防のための普及啓発を行う。</p>

（※8）ポピュレーションアプローチとは、個人に働きかけるのではなく、サロンやサークルなど集団全体に働きかけを行い、集いの場全体として効果を上げる取り組み方法。

○令和5年度から、健康推進課及び福祉課の2課が一体となり「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」に取り組んできた。健康推進課との連携が深まったことにより、集いの場におけるリハビリテーション専門職による介護予防につながる具体的なトレーニング等の助言や、保健師による健康教育（健診受診勧奨、オーラルフレイル予防・生活習慣病の重症化予防の啓発）、健康相談の取り組みがより充実したものとなった。また、令和6年度には、体組成計を用いることで筋肉量などフレイル状態の把握が新たにできるようになり、活動の継続や活性化につなげることができた。

○令和5年10月に、開催した「ほくえい介護予防フェスタ2023」をきっかけに、社会参加の重要性が再認識されたことから、令和5年12月号町報を初回として、『元気高齢者団体の集いの場紹介コーナー』を設け、活動状況を紹介し、既存サークルの活性化や新規サークルの開拓につなげることができた。

○オーラルフレイルについて、サロンや教室等で予防のための普及啓発を継続実施してきたところであるが、令和5年度から事業展開している「集いの場へのリハビリテーション専門職派遣事業」の活用や「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」が相乗効果をもたらし、歯や口腔の健康についての講話が聴ける歯科衛生士、言語聴覚士の派遣希望が全体の約1/3を占める結果となり、オーラルフレイル予防の意識の高揚につながった。

② 在宅医療・介護連携の推進（計画 P36, 37）

項目	主な内容
④ 地域住民への普及啓発	地域住民が必要なサービスを選択できるように在宅医療・介護連携に関する事項の普及啓発を行う。中部圏域版エンディングノート「わたしの未来ノート～大切な人に伝えたいこと～」を活用した終活や看取り、人生の最終段階における意思決定支援等に対する理解が促進されるよう普及啓発を行う。

○ほくえい介護予防フェスタ 2024「新しい認知症観へ＝他人事から自分事へ」（令和6年9月）のプレイベントを兼ね、令和6年8月に福祉映画上映会「ぼけますから、よろしくをお願いします。」を開催した。映画鑑賞者個々が、人生の最終段階の迎え方を考えるきっかけとなり、さらには、「認知症」をキーワードに、自身の振り返りや家族や地域の一員としての関わり、思いや行動を考えるきっかけとなった。

③ 認知症施策の推進（計画 P37, 38（関連 P15））

項目	主な内容
① 認知症への理解を深めるための普及・啓発、地域で支える体制づくり	<p>地域で認知症の人を支える基盤として、認知症の人の視点に立って認知症の理解を深めるため、認知症サポーターの養成講座等の開催、世界アルツハイマー月間を中心とした普及啓発活動を実施する。また、認知症高齢者等ご近所応援団ネットワーク登録事業の普及やGPS利用費助成事業の広報に取り組む。</p> <p>身近な場所から相談につながるように、認知症サポーターや民生委員、関係機関と連携し、住民に相談窓口の周知を行う。</p>

○令和6年9月に、ほくえい介護予防フェスタ 2024「新しい認知症観へ＝他人事から自分事へ～本人の思い、声を聴くことから始める～」を開催した。認知症の当事者に登壇してもらい、インタビュー形式で本人の思いを聴いたことによって、新しい認知症の考え方につながる機会となった。

○令和5年度から取り組んでいる認知症啓発のシンボルカラーのオレンジ色の花を咲かせる「オレンジガーデニングプロジェクト」では、令和6年度は、町内グループホーム等とこども園・小中学校との交流による取り組みに加え、3つの介護事業所でも新たに取り組みができた。

○令和5年度から事業開始した、認知症等による行方不明者の早期発見・早期保護を目的とした「ほくえい見守りシール（二次元コードシール）」を配布する外出行動対策事業について、令和6年度は、ほくえい見守り安心ネット協力機関、居宅介護支援事業所（ケアマネ）等を対象に導入説明会を開催し、本格稼働の運びとなった（鳥取県内では、米子市に次いで2番目の導入）。また、この説明会の様子は、NHK、地元ケーブルテレビ（TCC）で放映、日本海新聞に記事掲載された。（令和7年1月末時点で、配布者数は4人）

④生活支援・介護予防サービスの体制整備の推進（計画P39）

項目	主な内容
① 協議体の設置	生活支援を担う多様な主体や住民間の情報共有、連携・協働による取組を推進する。 1層（町全体）及び2層（小学校区域）にそれぞれ設置し地域ごとの特性にあったニーズの抽出や支援体制づくりを検討するとともに必要な資源創出にむけた働きかけや提言を行う。
② 生活支援コーディネーターの配置	高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進するため、協議体と連携して、助けあい活動の活性化のための取組や、生活支援の担い手（生活支援サポーター等）の養成、関係者（団体）のネットワーク化、ニーズとサービスのマッチング等の役割を果たす。 1層（町全体）及び2層（小学校区域）に設置し、地域の特性に応じた取組を行う。

○北条地域の住民の交流を目的とし、地域のみんが気軽に話せる憩いの場「ほっこりひろば」については、令和4年8月から令和5年度末まで活動休止となっていたが、「北条よっしゃやらあ会」（2層協議体）で開催会場など実施方法についての協議を重ねてきた結果、令和6年4月から北条健康福祉センターを主会場としながら再開できる運びとなった。

○自治会単位の集い・交流の場であるいきいきサロンを開催していない自治会があることから、北条よっしゃやらあ会（2層協議体）では、協議体を中心となって各公民館に出向く形式の「移動式サロン」開催について検討している。

⑤ 地域ケア会議の充実（計画P39, 40, P41（関連P16, 17））

項目	主な内容
② 地域課題の検討	個別ケースの検討を積み重ねる中で、地域に不足している資源やサービス、深刻化が予測される地域の課題等を明らかにし、生活支援コーディネーター等関係者で共有し、地域課題の解決に向けた検討を行う。明らかになった地域課題について、介護支援専門員等と情報共有することで、新たな地域課題の抽出や社会資源の構築を図る。

○地域課題のひとつに、中年世代（働き世代）の運動不足があがった中で、現在ある介護予防事業である「こけないからだ体操」への参加は高齢者が多いことから、健康推進課と連携し、中年世代が取り組める体操を考案し、健康づくりの啓発を図ることを目的とした「働き世代の健康づくり企画」の取り組みを開始した。この企画のPRイベントとして、手嶋俊樹北栄町長と白石祐治江府町長が6か月間の運動継続効果を競うこととなり、令和7年2月4日には、体力測定会が行われ、テレビ・新聞に大々的にニュースとして取り上げられた。

介護保険（保険料基準額・要介護認定率・高齢化率）

保険者名	第8期保険料 基準額(月額) (円)	順位	第9期保険料 基準額(月額) (円)	順位	要介護認定率 令和5年3月末時点	順位	要介護認定率 令和6年3月末時点	順位	高齢化率 (65歳以上) 令和5年時点	順位
	鳥取市	6,333	7	6,100	8	19.4%	9	19.3%	8	30.6%
米子市	6,480	11	6,480	13	20.7%	13	21.0%	13	29.8%	1
倉吉市	6,392	9	6,392	12	17.7%	3	17.4%	3	35.8%	5
境港市	6,378	8	6,378	10	20.5%	11	20.7%	11	33.8%	4
岩美町	6,432	10	6,010	7	20.7%	13	21.0%	13	39.5%	10
若桜町	6,500	12	6,500	14	22.8%	16	22.5%	15	50.8%	15
智頭町	6,100	5	5,600	1	18.1%	6	19.0%	7	45.7%	13
八頭町	6,900	15	6,100	8	19.0%	8	19.2%	9	38.1%	7
三朝町	6,700	13	6,700	15	20.1%	10	19.7%	10	41.2%	11
湯梨浜町	6,200	6	6,740	16	17.8%	5	18.0%	5	33.1%	3
琴浦町	5,700	1	5,800	5	16.6%	2	17.3%	2	38.7%	9
北栄町	5,760	3	5,760	4	14.5%	1	14.9%	1	37.2%	6
大山町	6,946	16	6,384	11	18.8%	7	18.9%	6	41.7%	12
日南町	5,700	1	5,700	3	24.8%	17	26.4%	17	53.7%	17
日野町	6,859	14	5,959	6	20.6%	12	20.7%	11	52.3%	16
江府町	7,200	17	6,800	17	22.6%	15	23.5%	16	50.6%	14
南部箕蚊屋広域連合	5,804	4	5,630	2	17.7%	3	17.8%	4	38.3%	8
鳥取県平均保険 料基準額 (加重平均)	6,355	-	6,219	-	19.4%	-	19.5%	-	33.3%	-

※ 第8期保険料基準額については、令和3年5月公表時、第9期保険料基準額については、令和6年5月公表時の保険料基準額を掲載している。

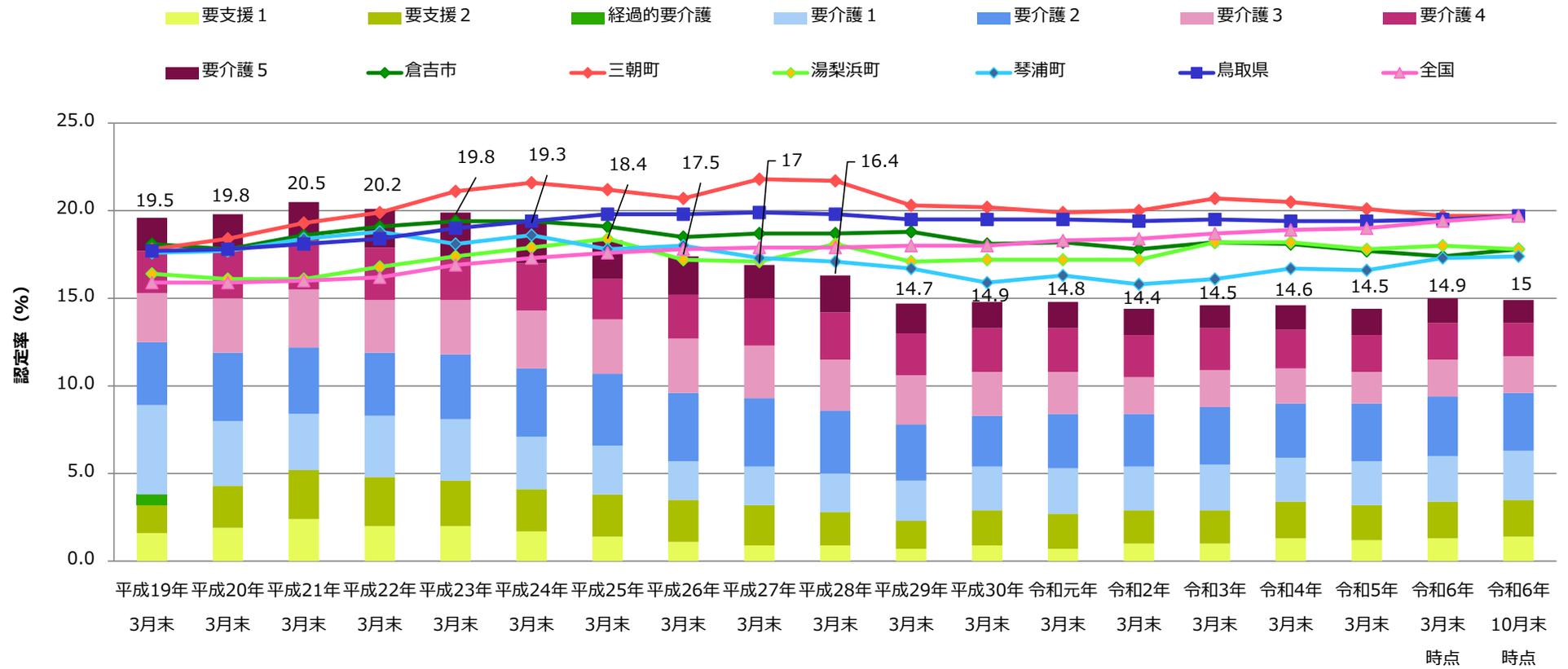
※ 要介護認定率(第1号被保険者の認定者数/第1号被保険者数)については、介護保険事業状況報告の数値より算出している。

※ 高齢化率については、令和5年時点の総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」による。

※ (加重平均)

保険者ごとの保険料徴収見込額(保険料額×第1号被保険者数)の合計額を県内第1号被保険者数で除して算出(鳥取県における被保険者一人あたりの保険料額の平均)

認定率（要介護度別）（【北栄町：棒グラフ】全国・鳥取県・中部地区市町：折れ線グラフ）



(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和5,6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）